



6月16日一通の投稿が連盟役員間のメールにあった。それは平澤英樹大会委員長よりであった。

「お疲れ様です。本日の花輪グラウンドでのホームラン賞です。千城台レッドシャークの伊東君が人生初ホームラン。また同チームのキャプテン北条君の余裕のあるランニングホームラン。そして新浦安ドリームスター小山君の“お口あんぐり”するような飛びすぎの大本塁打、まさにドリームホームラン。みんなお見事でした。本日も、心を込めて(?)ホームランボールにメッセージをかかせていただきました。ホームランを打った3選手は晩御飯をニコニコ顔で食べていること間違いなし。

また 大森フライヤーズの椎名君、代打でマリスタジアムに引き続き、本日も代打でヒットを記録。帰りの際彼へ『君は期待をうらぎらない。次も期待しているよ』と伝えたら、可愛い顔して喜んでいました。将来楽しみな子供たちです。

皆さんも推しの選手を見つけて教えてください。皆で学童野球を盛りあげましょう」



新浦安ドリームスター 小山君

こんな心温まる記念ボール授与式が今でも続いている。

この10年、数多く子供達は中学校野球・高校野球・大学野球・社会人野球・プロ野球に進んだ。その中でプロ野球に進んだ2人を紹介する。

石橋 康太 君 捕手・四街道ブルースターズ

2000年(平成12年)12月7日四街道市生まれ。小学校2年より四街道ブルースターズに入部。第31回卒部記念大会優勝に貢献。四街道市立西中学校時代千葉市シニアに在籍。その後関東一校に進学し、1年夏より強肩・強打の捕手としてレギュラーで活躍。2年夏の都大会で4試合連続アーチ。2018年(平成30年)ドラフトで中日より4位指名された。



大河原 翔 君 外野手・院内イーグルス

2003年(平成15年)8月17日千葉市生まれ。小学校時代「院内イーグルス」に在籍し主に捕手として活躍。強打者でもあったその後千葉西シニア・高校は東海大山形高校に在籍した。高校時代は外野手に転向し、通算31本の本塁打を打ち強打者として活躍した。2021年(令和3年)のドラフト会議で東北楽天ゴールデンイーグルスより育成3位に指名された。



くりくり新聞で振り返る
第39回から第46回まで



第39回くりくり少年野球選手権大会 2017年・平成29年

出場チーム：打瀬ベイバスターズ【優勝】

第43章 「やってくれましたくりくり2連覇 打瀬ベイバスターズ 創部15年目 悲願の初優勝」

第40回記念くりくり少年野球選手権大会 2018年・平成30年

出場チーム：幸町リトルインディアンズ

1回戦 幸町リトルインディアンズ 1-3 名古屋針HBC少年野球クラブ(愛知)

バッテリー 高橋佑・千原⇒竹松
長打 兼川(二塁打)



開会式、大会会長の挨拶の中での千葉の3連覇の話題が出るようなプレッシャーのかかった大会。初回1点を先取し順調な滑りだしだったが、その裏、普段では考えられないバッテリーミスで2点献上。その後1点を加えられてしまった。幸町は雰囲気にもまれたか、普段の実力を発揮できずに惜敗した。

第41回くりくり少年野球選手権大会 2019年・令和1年

出場チーム：小中台JBC

1回戦 小中台JBC 2(2)-2(3) 境野子供会野球部(群馬)

バッテリー 中村紀⇒水野
長打 大淵(本塁打)・大淵(二塁打)

タイブレーク



小中台の先発は中村投手、得意の外角一杯の速球がさえ上々の立ち上がり。2回裏小中台、先頭の大淵が中前安打。続く石黒もしぶとく安打で続き一塁・三塁の絶好のチャンス、一死後堀内が三塁線に見事なスクイズで先取点。4回裏また大淵が高めの球を左中間越えのホームランで2-0。しかし相手も5回・6回に加点し延長戦に突入。延長戦でも決着がつかず無死・一塁・二塁からのサドンデスに。小中台は先頭の鮎沢が三塁線にバントヒットで無死満塁。野口の犠打と中村のスクイズで2点加算。しかし、その裏相手の4番の多田に走者一掃の左翼越えの本塁打を浴び涙を飲んだ。

第42回くりくり少年野球選手権大会 2020年・令和2年

コロナ禍のため開催中止

くりくり少年野球交流試合

2021年・令和3年

出場チーム：ミヤコリトルベアーズ

1回戦 ミヤコリトルベアーズ 6-4 菱田ブルーフォックス(厚木)

バッテリー 笹原・久我・廣瀬・藤森・宇部⇒菊澤
長打 久我(本塁打)・笹原(二塁打)



1回表、先発笹原の制球の乱れで1点献上。ミヤコは2回、4番久我が左中間を破る本塁打で同点、続く子安・笹原が四球などで出し7番菊澤が右前安打で2点獲得。追いつ追われつの試合展開となったがミヤコは3回裏、久我・子安の安打、笹原の二塁打。4回裏、藤森・久我の四球から安打をからめて2点追加。5回菱田に1点をとられたが時間切れとなり逃げきった。

第44回くりくり少年野球選手権大会 2022年・令和4年

出場チーム：打瀬ベイバスターズ

1回戦 打瀬ベイバスターズ 17-1 赤塚アントラーズ(埼玉)

バッテリー 山畑・堀米⇒小森
長打 前城・小森(本塁打)・賀谷(二塁打)



開会式より時間が空いての初戦。両チームとも緊張からか動きが硬い。3回表赤塚、8番打者が右前安打そして二盗。9番打者の中前安打で一気に本塁を狙うがセンター前城の好返球で本塁憤死。これで流れが打瀬にきた。4回の攻撃、1番前城と続く小森の本塁打。代打賀谷の二塁打を含む長短7安打と四死球8個。打者21人の猛攻で一挙に17点をあげ試合を決めた。(蛇名)

2回戦 打瀬ベイバスターズ 11-7 池雪ジュニアストロング(大田)

バッテリー 山畑・井上・堀米⇒小森
長打 小森・前城(本塁打)・山畑・齊藤(三塁打)・井上・小森(二塁打)



人工芝のグラウンドで気温37度。両チームが死力を尽くした文字通り「大熱戦」。打瀬は初回、先頭の前城の四球から3番境のライトへの犠牲フライで幸先よく先制。猛暑の中で互いに点を取り合う一進一退の展開となった。5回裏打瀬は猛攻を見せる。三塁打の2番齊藤を3番境が内野ゴロで勝ち越し。ここから2個の四球を挟み小森・井上・八島の三連打と5人が続き一挙3点。さらに攻撃を緩めずこの回7点を加算。最後は齊藤が相手を抑えて2回戦見事に突破した。(蛇名)

3回戦 打瀬ベイバスターズ 8-10 大宮パワーズ(大宮)

バッテリー 山畑・井上・堀米・齊藤⇒小森
長打 高橋・井上・境(本塁打)

タイブレーク2回



35度の猛暑の中、両チームの協力打線と諦めない強い気持ちがあぶかり合い、体力の限界まで戦った死闘・好試合であった。5回まで5-5同点で緊迫した試合展開。5回裏、大宮は2番打者のエラーによる出塁後、3番打者がタイムリーで1点加算。その裏打瀬は5番井上の本塁打で再び追いつきタイブレークに突入。1回目のタイブレークでも決着つかず2回目のタイブレーク。大宮は4番打者の左中間本塁打で一挙4点。追う打瀬はその裏、3番境がセンターオーバーの2点本塁打を打ちくいさがあったが後続が続かず、ここで力尽きた。(蛇名)

1回戦

磯辺シャークス 5-8 池雪ジュニアストロング(大田)

バッテリー 八田・二田・八田・植草⇒横山
長打 鈴木・上村(本塁打)・洞口(三塁打)

1回裏、池雪に2点温塁打をうたれ苦しい立ち上がりとなった。追う磯辺は2回表、一死後6番洞口が三塁線を抜く三塁打。続く7番上村が中前安打で1点を返した。3回表、磯辺は3番植草を一塁に置いて、4番鈴木が左中間を超える本塁打で2点獲得逆転に成功。後続打者も安打で続き7番上村が見事左中間を破る本塁打でこの回4点。応援の誰もが日頃のシャークスペースになったと感じた。しかし3回裏、池雪に相手の猛攻にあい、なんと6点献上。追う磯辺は4回・5回懸命に追いかけたが命つきた。



東京ドームで選手宣誓をする打瀬ベイバスターズ 窪田 遥斗 主将



7月6日におこなわれた抽選会で見事1番くじを引いき、窪田遥斗主将が選手宣誓をおこなうことになった。選手宣誓は、2014年・平成26年第36回大会の木村勇輝主将以来10ぶり2回目。選手宣誓『宣誓 ぼくたち選手一同は、いつもお世話になっている監督やコーチ、いつも応援してくれる』お母さんへの感謝の気持ちを胸に、一球・一球を大切に、全力でプレーすることを誓います。令和6年 7月26日 選手代表 打瀬ベイバスターズ 主将 窪田遥斗』

2回戦

打瀬ベイバスターズ 3(4)-3(1) 上藤沢ライオンズ(入間)

バッテリー 長橋・鈴木播⇒行木
長打 松本(三塁打)

タイプレーク

初戦。選手たちは緊張した様子もなく元気よくグラウンド入り。1回表の攻撃、相手のエラーなどで幸先よく2点先取。上藤沢には、1回と3回4番打者に本塁打を浴び同点。4回表、打瀬は失策と安打で一死二塁三塁の好機。そしてバッテリーミスで1点。しかし4回裏、相手に本塁打を浴び、一死一塁二塁からのサドンデスに突入。打瀬は一死後、2番行木が中前安打で1点。二死後4番松本が走者一掃の2点三塁打。最終回は1点を失うが、長橋投手の粘りの投球を見せそのまま逃げ切り勝利。(松本)



3回戦

打瀬ベイバスターズ 6-4 淀四ライオンズ(新宿)

バッテリー 長橋・鈴木播⇒行木
長打 松本・行儀(本塁打)・窪田(三塁打)・松本(二塁打)

猛暑にもかかわらずこの日もグラウンドインした選手たち。淀四は1回3番打者の本塁打で2点。2回にも失策を絡み1失点と苦しい展開。追う打瀬は2回裏、松本が本塁打。そして3回裏、先頭の涌井が内野安打。二死二塁となったが2番行木が中前打で1点返す。そして5回裏の攻撃、2番行木が中超越の本塁打。続く3番窪田が右中間に三塁打で一死三塁。4番松本が同点タイムリー二塁を放つ。5番小島も左前安打で続き、代走山内がすかさず盗塁。それが相手のミスを誘って一気に2点追加した。最終回は好投続ける鈴木播磨が淀四打線を抑えて勝利した。鈴木投手は3回を1安打・1失点と完璧な内容であった。(松本)



準々決勝

打瀬ベイバスターズ 7-6 美原アテネス(大田)

バッテリー 鈴木播・涌井・長橋⇒行木
長打 小島(三塁打)・山畑(二塁打)

美原は前日の試合で13得点しており、打瀬の投手陣がどれだけ粘れるかが勝負のポイントとなる試合であった。先発はこの大会で好投を続ける鈴木播磨。1回表、四球や犠打で1点献上。しかしこの日も球が走っており安定した投球を見せる。1回裏、打瀬は失策と四球でのノーアウト二塁三塁とすると連続ボークで試合を逆転。2回裏、6番山畑の左中間の二塁打・犠打・スクイズ・相手の失策などで4-1とする。美原は3回・4回に反撃し1点差まで追いつかれた。また最終回もまさかの3失点。最終回打瀬は2アウトランナーなし。ここからドラマのような展開が待っていた。2番鈴木播が中前安打、続く窪田も内野安打、松本も中前安打、ここで無安打の小島。「みんなの為に思い切りバットを振ってこいと指示」。ベンチもこの日一番の大声援で小島を後押しすると、カウント2-3から振り抜いた打球はレフトの頭上をはるかに超える逆転サヨナラ三塁打。打瀬の選手からは目に涙があふれ、劇的勝利となった。(松本)



決勝

打瀬ベイバスターズ 2-9 不動パイレーツ(目黒)

バッテリー 長橋・涌井・松本⇒行木
長打 長橋(三塁打)・松本(二塁打)

7年ぶり、2回目の優勝を目指し挑んだ決勝戦。相手は東京の強豪「不動パイレーツ」準決勝で劇的な勝利を収めた選手たちは、厚さと疲労を全く感じさせない表情。試合が動いたのは2回表の不動の攻撃、先頭の5番打者が右安打。すかさず盗塁。続く6番の打者が3球目をとらえて先制の二塁打で1点先制。続く8番バッターにも二塁打を打たれこの回2点献上。追う打瀬、その裏すぐに反撃を開始した。準決勝の立役者5番小島がしぶとく右安打で出塁。相手バッテリーのミスで二進後、一死後7番長瀬が今大会初ヒットとなる三塁打を放ち1点返すと8番山内がスクイズを決めて2-2の同点となる。しかし不動の打線が爆発した。3回表3番打者に本塁打。4回はヒットと失策で出塁を許すと、その後3連打を浴び4失点。迎えた最終回も失策が重なり2点を失ってしまった。選手たちは最後まであきらめることなくベンチで大声出して応援していたが、反撃及ばず試合終了となった。(松本)



1976-85

1986-95

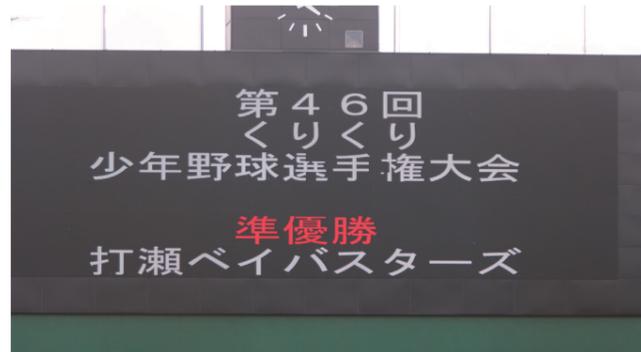
1996-2005

2006-15

2016-25

くりくり少年野球選手権大会 出場チーム名簿〔大会冊子より〕

閉会式では、本大会の優秀選手賞に松本大河君が選ばれた。



第39回大会 (2017年・平成29年)

打瀬ベイバスターズ【優勝】

監督	濱田 哲史
コーチ	渡辺 竜一
〃	上田 信幸
スコアラー	藤平 達郎

	背番号	氏名	学年
1	10	矢島 優成	6年
2	1	上田 瑚大	6年
3	2	藤本 愛也	6年
4	3	山本 暖	6年
5	4	小林 仁	6年
6	5	吉本 悠祐	6年
7	6	渡辺 拳士郎	6年
8	7	実川 真之介	6年
9	8	ハレグザット・ノア	6年
10	9	濱田 創真	6年
11	11	山口 航生	6年
12	12	高橋 駿太	5年
13	14	山本 優希	5年
14	15	山口 偉瑛	5年

第40回大会 (2018年・平成30年)

幸町リトルインディアンズ

監督	千原 直裕
コーチ	竹松 史明
〃	日塔 慶吉
スコアラー	高橋 直樹

	背番号	氏名	学年
1	10	兼川 加風斗	6年
2	1	高橋 佑輔	6年
3	2	竹松 勇輝	6年
4	3	高橋 拓海	6年
5	4	中村 太裕	6年
6	5	日塔 寛太	6年
7	6	千原 司	6年
8	7	片岡 都心	6年
9	8	青木 琢真	6年
10	9	田村 翔真	6年
11	11	唐鎌 大輔	6年
12	12	山本 笙太	6年
13	13	菅谷 圭太	5年
14	14	鈴木 久貴	5年
15	15	中園 柊之介	5年

第41回大会 (2019年・令和1年)

小中台JBC

監督	磯山 訓
コーチ	中村 健治
〃	野口 倫考
スコアラー	大淵 智早

	背番号	氏名	学年
1	10	野口 龍馬	6年
2	1	中村 紀翔	6年
3	2	永野 悠清	6年
4	3	鮎澤 豊	6年
5	4	堀内 大地	6年
6	5	石黒 幸孝	6年
7	6	加藤 光貴	6年
8	7	大淵 葵	6年
9	8	大越 樹	6年
10	9	田澤 泰幹	5年
11	11	石田 悠介	5年
12	12	横土 裕也	5年
13	13	渡邊 悠正	5年
14	14	酒井 虎之介	5年
15	15	水野 舞人	5年
16	16	中村 碧	5年
17	17	益子 拓己	5年

2021年くりくり少年野球大会交流試合

ミヤコリトルベアーズ

監督	久我 孝明
コーチ	子安 直紀
〃	大曾根 清隆
スコアラー	菊澤 以津子

	背番号	氏名	学年
1	10	久我 光輝	6年
2	1	廣瀬 蓮	6年
3	2	市川 泰心	6年
4	3	菊澤宏太郎	6年
5	4	宇部 心翔	6年
6	5	笹原 洋輔	6年
7	6	小安 元輝	6年
8	7	高濱 孝将	6年
9	8	藤森 喜也	6年
10	9	奥谷 春音	6年
11	11	大曾根健人	6年
12	12	篠崎 悟一	6年
13	13	星野 晴人	6年
14	14	紅谷 直和	6年
15	15	塚本 藍琉	6年

第44回大会 (2022年・令和4年)

打瀬ベイバスターズ

監督	蛭名 和博
コーチ	山畑 俊輔
〃	境 祐策
スコアラー	前城 直輝

	背番号	氏名	学年
1	10	小森 瑛友	6年
2	1	山畑 勇真	6年
3	2	堀米 斗真	6年
4	3	前城 和哉	6年
5	4	井上 凱斗	6年
6	5	坪倉 健晴	6年
7	6	八島 圭佑	6年
8	7	斉藤 怜央	6年
9	8	賀谷俊太郎	6年
10	9	高橋 幹人	6年
11	11	堤 駿希	6年
12	12	竹端 太雄	6年
13	13	赤川 湧斗	6年
14	14	玉木 大耀	5年

第45回大会 (2023年・令和5年)

磯辺シャークス

監督	小池 貴昭
コーチ	加藤 浩修
〃	岡本 真
スコアラー	植草 花梨

	背番号	氏名	学年
1	10	横山 輔	6年
2		二田 章裕	6年
3	2	八田 朝陽	6年
4	3	石塚 友希	6年
5	4	江川 雄志	6年
6	5	洞口 孝介	6年
7	6	植草 大地	6年
8	7	鈴木 帆	6年
9	8	菅原 理央	6年
10	9	大塚大空斗	6年
11	11	西山 晃生	6年
12	12	上村 裕之	5年
13	13	志村 新太	5年
14	14	金丸 寛知	5年
15	15	植草 大雅	5年
16	16	田口 夏人	5年
17	17	山崎 拓人	5年
18	18	人見 奏多	5年
19	19	高山 柊	5年
20	20	藤井 奏真	5年

第42回大会はコロナ蔓延のため中止

1976-85

1986-95

1996-2005

2006-15

2016-25

くりくり少年野球選手権大会 出場チーム名簿〔大会冊子より〕

第46回大会 (2024年・令和6年)				第47回大会 (2025年・令和7年)							
打瀬ベイパスターズ【準優勝】				千葉ヤンキース		花見川ヒューガーズ					
監督	松本 隆志			監督	森下 昇平			監督	小池 健志		
コーチ	鈴木 鉄也			コーチ	田中 博之			コーチ	諸星 健二		
〃	窪田由紀彦			〃	松下 慎也			〃	山崎 修		
スコアラー	堺 洋之			スコアラー	田中 美希			スコアラー	齋藤 栄一		
背番号	氏名	学年		背番号	氏名	学年		背番号	氏名	学年	
1	窪田 遼斗	6年		1	平松 大和	6年		1	小池 亮輔	6年	
2	長橋 慧	6年		2	森下 睦月	6年		2	山崎 陽空	6年	
3	松本 大河	6年		3	近内 湊佑	6年		3	石渡 優唯	6年	
4	佐藤 陸	6年		4	小幡 一乃祐	6年		4	齋藤 瑚太郎	6年	
5	堺 大輔	6年		5	萩島 成吾	5年		5	飯塚 泰心	6年	
6	山畑 遼真	6年		6	成清 幸輔	5年		6	山脇 汐人	6年	
7	鈴木 播磨	6年		7	井上 風羽	5年		7	諸星 はる	6年	
8	山内 啓大	6年		8	伊藤 天真	6年		8	齋藤 龍司	6年	
9	行木 勇人	6年		9	田中 陸翔	6年		9	谷口 聡汰	6年	
10	田口 潤	6年		10	小倉 煌牙	6年		10	木村 瞬介	6年	
11	村山 隼太郎	6年		11	水野 晴貴	5年		11	小野 佑斗	6年	
12	畑中 恵亮	6年		12	斉田 陽向	5年		12	江州内 泰人	6年	
13	越川 心羽	6年		13	萩島 桐吾	5年		13	亀田 有翔	6年	
14	涌井 琉聖	6年		14	近藤 拓海	5年					
15	鈴木 琉太郎	6年									
16	宮本 航太	6年									
17	小島 瑞生	6年									

くりくり少年野球選手権大会 支部別 優勝回数・入賞回数

(第46回大会まで)

優勝回数	支部名						
4回	大宮 準優勝 0回 第三位 1回	大田 準優勝 2回 第三位 5回					
3回	千葉 準優勝 4回 第三位 6回	杉並 準優勝 4回 第三位 4回					
2回	川越 準優勝 1回 第三位 3回	横浜 準優勝 1回 第三位 3回	北海道 準優勝 2回 第三位 1回	江戸川 準優勝 0回 第三位 2回			
	川口 準優勝 1回 第三位 2回	群馬 準優勝 0回 第三位 2回	栃木 準優勝 0回 第三位 0回	福岡 準優勝 0回 第三位 0回			
1回	新座 準優勝 2回 第三位 3回	浦和 準優勝 3回 第三位 2回	所沢 準優勝 1回 第三位 3回	足立 準優勝 0回 第三位 3回	豊島 準優勝 1回 第三位 2回	東久留米 準優勝 1回 第三位 2回	練馬 準優勝 0回 第三位 3回
	川崎 準優勝 1回 第三位 0回	国分寺 準優勝 1回 第三位 0回	狭山 準優勝 1回 第三位 0回	大阪 準優勝 0回 第三位 1回	西多摩 準優勝 1回 第三位 0回	中野 準優勝 0回 第三位 0回	目黒 準優勝 0回 第三位 2回

千葉支部 くりくり大会 通算成績 | 119 試合 78 勝 41 敗 | 勝率 6 割 5 分 5 厘

※千葉支部 第3回大会 第三位入賞 当連盟以外別途有

第59章

ネット裏から見た
京葉少年野球 この10年(5)

2017年・平成29年～2026年・令和7年



私の少年野球史
土許 紀雄 理事長

京葉少年野球連盟 50周年記念誌の発行にあたり、私の少年野球の歴史を振り返ってみました。少年野球の指導者として40年近くになりました。きっかけは、私の大好きな野球の経験から、我が子と一緒に野球ができたらとの思いからです。

そして何年かの先、私と息子の会話の中で共通の話題として語り合えればとの願いもありました。

高洲ストロングスに所属し、毎週の週末、目覚めとともに天気を気にしながら、ユニフォームに着替えて、食事もしっかりとり、体調を整えてホームグラウンドへ。仕事が忙しい時期など、妻に「たまには身体を休めば」と言われることもありましたが、私にとって最高のリフレッシュの出来るものとなってしまいました。週末の後援会・指導者への電話連絡や練習試合の申し込みなど大変苦労した事を思い出します。

たかが少年野球と思うが、各大会の試合では子供たちの練習の成果が充分発揮できるかいつも心配の連続でした。試合の結果にかかわらず、今後の指導の仕方、練習の方法などを話し合い、各指導者の意見を聞き取り、次の試合に臨みました。会議後、指導者と飲む酒これまた最高、何とも言えない楽しい場が毎週あった気がします。公務員・会社員・自営業など色々な職業の指導者の集まりの中で共通の話題は1にも2にも子供たちの可能性をいかに引き出してやるか、職業が違えば見方も考え方も随分違う事もあり、いい勉強の場でもありました。今の悩み事・心配事はここ何年か前から少子化と同時にプロサッカーJリーグの人気上昇で、どのチームも子供集めに一苦労しております。何年か前までは、ベンチ組にも何人が残っていたと思いますが、今は全員レギュラー。人数ギリギリで試合をおこなうチーム、チーム廃業、合同チームで参加など、今の状態が続くとますます部員の減少が続き、チーム作りが困難になると思われます。

今こそ初心に戻って子供たちに野球の楽しさを広く伝えることが重要と思っております。

1976-85

1986-95

1996-2005

2006-15

2016-25

平成9年にチームの監督を辞め、その後千葉市協会、美浜区連盟の役員を務め、令和2年 福田理事長の後任として京葉少年野球連盟の理事長を拝命いたしました。今までの少年野球で経験した事を生かし「グラウンド全面を汗と泥、埃にまみれ走っている子供たちの明るい笑顔・笑顔。そういう風景を見ていると勇気をもらい、京葉球児たちのために頑張ろうと思っています」

第49回春季・秋季大会参加クラブ

あすみが丘ゴールデンスターズ	大森フライヤーズ	都賀ジャガーズ
あすみが丘コスモスキッド	オール五井ヤップオーシャン	津田沼少年野球団
有吉メッツ	小倉台ライガース	習志野フェニックス
泉谷メッツ	小中台JBC	花見川ツインズ
磯辺シーグルス	幕張昆陽クラブ	花見川ヒューガーズ
磯辺シャークス	幸町リトルインディアンズ	花輪ユナイト
磯辺トータス	新浦安ドリームスター	平川ファイターズ
いなげパイレーツ	新宿マリナーズ	誉田ベアーズ
稲丘ベアーズ	園生わかば	幕西ファイヤーズ
今井ジュニアビーバーズ	高洲コンドルス	真砂シーホークス
院内イーグルス	武石ブルーサンダー	みつわ台スラッガーズ
打瀬ベイバスターズ	辰巳ハニーズ	緑町レッドイーグルス
浦安ファイターズ	千城台レッドシャーク	ミヤコリトルベアーズ
生浜ヤンキース	千葉ヤンキース	四街道ブルースターズ
大久保フロッグス	ちはら台ファイターズ	花園ライオンズ
千葉ラディアンツ		

(以上 46クラブ)

私が思う学童野球の審判とは 審判部長 根津 敦



京葉少年野球もおかげさまで50周年を迎えることになりました。

これもひとえに連盟加盟チーム関係者の多大なるご理解ご協力のおかげだと連盟役員一同感謝いたしております。その中でも、春季・秋季大会などの試合において必要不可欠である審判のご対応には審判部一同本当に有難く思っております。野球経験が無く、ましてや審判なんて全くわからないと言われるお父さん方が子供の為に一生懸命審判をされている姿は最高です。

その一生懸命の姿を見て子供達は成長していくのだと私は常に思い、指導審判として皆様のお手伝いをしております。京葉少年野球連盟のスローガンで「野球を好きになってもらいたい」という言葉がございます。一方審判部内でも「審判を好きになってもらいたい」というスローガンがございます。私たちが携わっているのは少年野球（学童野球）です。中学野球・高校野球・社会人野球・プロ野球とは全く違う世界です。親御さんと子供達が唯一グラウンド内で一緒に野球を楽しめる世界です。我が子が小学校の時にしか、この楽しみは味わえないのです。お父さん達に審判を楽しく覚えて頂いて子供達と同じグラウンド内でプレー・ジャッジが出来るようにと私達審判部は「審判を好きになってもらいたい」というスローガンを掲げて日々審判指導に努めております。〔審判なんてわからない・審判は緊張する・審判は面倒くさい〕などは誰もが必ず思います。その気持ちを少しでも無くすような審判指導をと常日頃より考えており、審判ご対応された方々にお伝えしているのは、試合にて審判を経験して行く中でいろいろなことが起こり、ルールを覚えて理解していきます。その経験したことをチームに持ち帰り審判の立場から子供たちにしっかり指導していただければ幸いです。

野球経験が無くても、監督でなくとも、コーチでなくとも審判という立場から子供達に指導が出来るのです。是非審判を経験しましょう。そして少年野球（学童野球）を楽しみましょう。その為私達審判部は全力でバックアップする所存ですので、今後より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

1976-85

1986-95

1996-2005

2006-15

2016-25

連盟運営・影の功労者 森永 侑作 前副理事長



連盟の大会運営に横断幕はかせない。フクダ電子グラウンドの中で大会を開催している野球団体も数多いが、大会名などの横断幕掲げている団体は見たことがほとんど無い。その中で京葉少年野球連盟はキチンと掲げ、どなたにも連盟名・大会名理解していただけた対外的にもアピールできている。

森永副理事長は縫製業のご経験から、2011年（平成23年）3月の東日本大震災直後の第33回季大会で使用した『がんばろう！日本』の横断幕、2015年・平成27年第37回くりくり大会『千葉代表チーム』の横断幕、2019年令和1年第43回春季大会より使用した大会標語『野球を好きになってもらいたい』、インタビュー用スクリーンなど製作していただいた物は各種に及んでおります。

また 磯辺高校吹奏楽部との調整もお願いして現在の関係の基礎を作っていただきました。感謝しております。



子供たちの名前の生き字引 原 通男 前理事



大会期間中バックネット裏の連盟役員の中で、各チームの指導者など挨拶に訪れてくれる数が一番多いのは原さんである。原さんの凄いところは、気さくな性格はもちろんのこと、連盟発足以来の主だった選手の名前・その後の動向などはっきり覚えていることである。子供のころ連盟の大会で活躍し、その後指導者として大会に戻ってくれた若い指導者も多い。原さんより昔の話や端的なアドバイスをうけると親近感も増す。そんな原さんファンが一杯いる。



1976-85

1986-95

1996-2005

2006-15

2016-25

忘れられない今村審判部長の言葉
 “京葉はこれから面白くなる。お主・頼むぞ” 清水 隆 前事務局長



私が京葉少年野球連盟に入れていただいたのは、みつわ台スラッガーズさんが全国制覇した1996年（平成8年）でした。それまでは、ある連盟にチームから派遣され、事務局次長という立場でいましたが、いろいろな出来事の対応を見ていると私の考えているボランティアとはかけ離れておりました。

ところが京葉の皆様と話をしていると姿勢がまったく違い子供たちへのロマンがあり楽しくその姿勢に共感を覚えました。加藤理事長はじめ役員の皆様の熱意にほれ、また若輩者でも紳士的に付き合ってくださいました。そんな京葉少年野球連盟を、私は大好きになりました。早いものでもう30年（事務局長18年）もお世話になっていることにビックリしています。

黒澤事務局長より事務局を引き継いだ時、インターネットも身近な物となりアナログからデジタルへの移行の時期でした。私自身アナログ派でしたので、パソコンの操作法など野球の事務で勉強させていただきました。先輩の皆様、特に故・今村審判部長よりご教授いただいた京葉の原点『子供が主役・野球を好きになってほしい』との事を忘れずに事務局として活動して参りました。いまでも日々「お主・しっかりやっているか」と言われている気がしております。

また日々の活動の中「京葉ファン（理解者）」の多いことにもびっくりいたしました。行政を含め数多くの団体・個人の皆様が応援していただいております。そんな恵まれた中、事務方として一つだけ自慢(?)できることがあります。各野球連盟のホームページの中で「皆様のご意見を聞くことはできません」との制約をつけているのがほとんどですが、京葉では「掲示板・今はメール受付」を当初から設置し、連盟との門戸を開けておりました。前ホームページは142万人ほどの皆様に見ていただきましたが、過去1回も叱責を受けませんでした。本当に有難いことと思います。

こんな京葉連盟が今後益々学童野球を愛する仲間を増して発展すること切に願います。

都市対抗野球 南関東大会 始球式
 京葉球児 柳沢君 (小倉台ライガース) 登場

2025年・平成7年

ZOZOマリンで始球式しませんか 南関東大会 小中学生バッテリ募集 6月7、8日 / 千葉

地域 | 千葉
 毎日新聞 | 2025/5/23 地方版 566文字



第96回都市対抗野球大会（毎日新聞社、日本野球連盟主催）の出場権をかけた南関東大会で、始球式に臨む千葉県在住の小中学生2組計4人を募集します。ZOZOマリンスタジアムで6月7、8の両日に予定されている試合の始球式で、当日はスタジアムの特別席で試合観戦もできます。2組には県野球連盟から記念のバットとグラブが贈られます。

若松台小6年・柳澤優心さん
 「いい球でよかった」 始球式

日本製鉄かずさマジックとJFE東日本の対決前、千葉市若葉区の市立若松台小6年、柳澤優心さん(11)が始球式で投球し、弟で同じ若松台小3年の太陽さん(9)が捕手として受け止めた。

2人とも地元の小中学生野球チーム「小倉台ライガース」で毎日練習して野球が大好きだといい、始球式に心算し

始球式で投球する柳澤優心さん(11)千葉市美浜区で、平塚雄太撮影

投球後、優心さんは「暴投じゃなくて、いい球がいて良かった」とはにかみ、太陽さんは「しっかりキャッチできて良かった」と笑顔を見せた。【平塚雄太】

◇第49回京葉少年野球連盟春季大会(8日・千城台公園など、毎日新聞社など後援)ハッシュタグ: #京葉少年野球

千葉ヤン 8-1 いなげあすみが 7-6 ちはら台

- 1976-85
- 1986-95
- 1996-2005
- 2006-15
- 2016-25

「少年野球の夢をおいかけて」 さらなる飛躍を目指して



子供が多かった時代。戦いが終わって大会がなかったら新たに大会「卒部記念大会」を作っていこう。4年生は試合が機会がないから「教育リーグ」を作ろう。

他の野球連盟がやらないことをやっっていこうとした昭和57年は、京葉少年野球連盟が大きく羽ばたいた出発でした。

連盟創立からはや50年。少子化の時代。『少年野球の原点 = 野球を好きになってもらいたい』をわきまえながら京葉少年野球連盟は、皆様と一緒に難局を乗り越え、連盟に加盟していることが『ステータス』となるように、地道ながら一步一步進化し、指導者・保護者の皆さん・子供達がとことん楽しめる場を今後とも提供し続けます。



次なる50年の飛躍に向けて『プレーボール』

京葉少年野球連盟 役員 (令和5年3月～令和7年2月)

名誉会長	白井 日出男						
会長	門山 宏哲						
副会長	白井 正一						
顧問	小川 智之	川村 博章	鷲見 隆仁	宇留間 又衛門	小松崎 文嘉	松坂 吉則	須藤 博文
理事長	土許 紀雄						
副理事長	尾崎 光雄	藤田 秀明	平澤 英樹				
理事	清水 隆	吉橋 正道	原 正典	山崎 修	黒河 英樹	松浦 良樹	
	浅野 英司	川野 光雄	佐藤 啓吾	安達 明可	根津 敦	本間 美樹也	
事務局長	山崎 修						
事務局	松浦 良樹	安達 明可					
広報部長(写真)	清水 隆						
会計	黒河 英樹						
監査役	長門 秀一	長谷川 正樹					
相談役	黒澤 章	原 通男	辻 紀文				
審判部長	根津 敦						
審判部 副部長	吉橋 正道	本間 美樹也					
指導審判員	吉原 育男	中村 進一	松田 昭博	山崎 修	河田 裕之	山田 直昭	八木 健一
	山内 健史	武田 修一	川村 祐介	木原文 二郎	秋廣 保	齊藤 孝	鈴木 正剛
	宍倉 政芳	吉井 肇	東海林 大介	蕪澤 義将	田原 伸彦		
くりくり連合会対応	藤田 秀明	平澤 英樹					
大会委員長	平澤 英樹						
大会副委員長	山崎 修	根津 敦					

(敬称略・順不同)

編集後記

「少年野球の原点を見据える」の理念のもと、京葉少年野球連盟も創立50周年を迎えることができました。当連盟のように『野球ずきの人』が集まってできた連盟でこのような年間行事をおこなっている組織は全国的に見てもありません。この記念誌は、将来に活動記録を残すために数多くの出来事を掲載しました。

また広報部員として連盟の諸活動を多くの写真に残していただいた佐藤典子様・鶴田喜栄司様ありがとうございました。また毎日新聞社様、あさひフレンド千葉様などの報道記事を使わせていただきました。お礼申し上げます。そして多数の皆様にも原稿、資料などの御協力をいただきました。感謝申し上げます。

編集委員会 一同

少年野球の夢をおいかけて - 京葉少年野球連盟 50年の歩み
令和8年・1月31日 第1版第1刷発行©

編集 : 「少年野球の夢をおいかけて」編集委員会 委員長 清水 隆
発行人 : 理事長 土許 紀雄
印刷製本 : 安達 明可・佐藤 典子(写真)・鶴田 喜栄司(写真)
発行 : 京葉少年野球連盟

非売品